

JIA東北建築大賞

陸前高田市立気仙小学校 大賞

所在地 岩手県
 設計者 綾井 新（綾井新建築設計）／土屋 辰之助（株式会社 土屋辰之助アトリエ）／長澤 悟（株式会社 教育環境研究所）
 施工者 株式会社 佐武建設

陸前高田市立気仙小学校



様々な場所から見える校地の集約化。復興の象徴となる体育館と風のホールを配置
 復興の柱に周辺をつくる木造の小学校
 2011年の東日本大震災で校舎が全壊した気仙小学校は、被災後に校舎を仮設で使用してきた旧気仙小学校と2013年に統合し、2018年1月に完成した新しい校舎に転校した。校舎は、復興事業により今後地区に造成された高台の最も高い位置（海抜約14m）にあり、復興の道沿い面を境として復興の象徴となる体育館と風のホールを配置し、復興の柱に周辺をつくる木造の小学校として、復興の象徴となる校舎を建てた。



小規模な学校にふさわしい教室まわり
 教室は、内部に独立したことで、6.37mの正方形の空間に奥行き1.82mのロッカーや展示スペース、教員コーナーを組み合わせた構造となっている。児童館に記した簡潔なスケールを生み出すとともに、素材と中階高床材による造りの温かみとバリエーションを実現した。



特別教室棟 多目的スペース 復興を掲げつつも、復興の象徴となる体育館と風のホールを配置し、復興の柱に周辺をつくる木造の小学校として、復興の象徴となる校舎を建てた。